

様式2

九州農政局 新技術・新工法 一覧表

1. 番号	2. 工種番号・分類(その1)	3. 工種番号・分類(その2)	4. 新技術の名称	5. 新技術の概要	6. 登録年度	7. 更新年度	8. 組織名(会社名)	9. キーワード(その1)	10. キーワード(その2)	11. 施工実績(件数)						12. 担当者所属・氏名	13. 担当者メールアドレス
										国営	公団営	県営	団体営	その他公共	民間		
	6-1 農道(道路)	15 法面保護	有機酸バイオ系地盤改良材「コーンα」BP	本技術「コーンα」BPは有機酸とキチン質のバイオ系地盤改良材で、従来は高炉セメントによる地盤改良に対応していた。本技術活用により改良土はpH中性域で、動植物にも安全で、品質向上と安全性の向上、再生砕石による道路の固化飛散防止、パテルス繁殖による放射線量抑制で周辺環境向上も図れる。	H30		大崎建設株式会社	14 予防保全	15 補修工法	0	0	0	0	87	29	技術研究所・清野昭博	a-seino@osaki-c.co.jp

記入要領

※記入に当たっては、列数を変更(挿入)しないこと。セルの結合も行わないこと。

- 1. 番号 記入不要
- 2. 工種番号・分類(その1) 下記の工種分類表を参考にドロップダウンで選択
- 3. 工種番号・分類(その2) 上記「2. 工種番号・分類(その1)」以外に分類する必要がある場合は、ドロップダウンで選択
- 4. 新技術の名称 名称を記入
- 5. 新技術の概要 新技術の概要を簡略に記入
- 6. 登録年度 登録年度を記入する。今回が再提出(更新)の場合、当初年度を記入
- 7. 更新年度 更新の場合に当該年度を記入
- 8. 組織名(会社名) 組織名、参画社名を表示(複数の場合は全社を記入)
- 9. キーワード(その1) 下記のキーワード選択表を参考にドロップダウンで選択
- 10. キーワード(その2) 上記「9. キーワード(その1)」以外に加えるキーワードがある場合は、ドロップダウンで選択
- 11. 施工実績 項目別に件数のみを記入(※半角で記入)
国営、公団営、県営、団体営の欄は、NN事業に係るもの。その他公共は、国交省等他の公共事業関係、民間は公共事業以外
- 12. 担当者所属・氏名 担当者の所属、氏名を記入
- 13. 担当者メールアドレス 担当者の連絡先のメールアドレスを記入(※メールアドレスはHPには非公開)

工種分類表

工種番号・分類	備考
1-1 フィルダム	
1-2 コンクリートダム	
2 頭首工	
3 ポンプ場	
4 ほ場整備	
5 農地造成工	
6-1 農道(道路)	
6-2 農道(橋梁)	
6-3 農道(トンネル)	
7-1 水路工(開水路)	
7-2 水路工(暗渠)	シールド工含む
7-3 水路工(水路トンネル)	
7-4 水路工(水路橋)	
7-5 水路工(サイホン)	
8 河川及び排水路工	推進工含む
9 管水路(バイブライン)工	
10 畑かん施設工事	
11 干拓工事・海岸堤防	
12 ため池	
13 ファームポンド	
14 農地保全	
15 法面保護	
16 農村整備	
17 農業集落排水工	
18 環境保全	
19 水管理施設	
20 ゲート・バルブ	
21 除塵機	
22 土壌改良	
23 公害対策	
24 基礎工	
25 仮設	
26 その他土木工事	
27 その他施設機械	
28 建築	
29 計画・設計技術	
30 測量技術	
31 情報化技術	
32 その他	

キーワード選択表

キーワード
1 農業生産性向上
2 高付加価値型農業
3 生活環境
4 自然環境
5 景観保全
6 生態系保全
7 国土保全
8 コスト削減
9 施設管理
10 施工作業効率
11 施工精度
12 施設の長寿命化
13 機能診断
14 予防保全
15 補修工法
16 災害復旧
17 安全性の向上
18 その他

記入例

1. 番号	2. 工種番号・分類(その1)	3. 工種番号・分類(その2)	4. 新技術の名称	5. 新技術の概要	6. 登録年度	7. 更新年度	8. 組織名(会社名)	9. キーワード(その1)	10. キーワード(その2)	11. 施工実績(件数)						12. 担当者所属・氏名	13. 担当者メールアドレス
										国営	公団営	県営	団体営	その他公共	民間		
	9 管水路(バイブライン)工		ABCバイブライン工法	当技術は、バイブラインの管更生手法であり、非開削で通水しながら工事可能。耐久性、施工性にすぐれ、コストも従来の半程度に抑えられている	H20		㈱ABC	12 施設の長寿命化	13 機能診断	4		4	2				